

総合工学科応用化学コース カリキュラムマップ

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
安全教育・工学倫理	応用化学基礎Ⅱ	先端技術基礎	無機化学B	高分子化学	化学実験Ⅱ	卒業研究	
応用化学基礎Ⅰ	物理化学A	微分方程式	無機化学演習B	高分子化学演習	有機合成化学	専門英語	専門英語
	物理化学演習A	分析化学	有機化学Ⅱ	生物化学Ⅱ	反応理論化学		
		分析化学演習	有機化学演習Ⅱ	生物化学演習Ⅱ	電気材料化学		
		無機化学A	物理化学C	化学実験Ⅰ	高分子物性学		
		無機化学演習A	物理化学演習C	高分子合成化学	生物学		
		有機化学Ⅰ	生物化学Ⅰ	有機機能化学	生体材料化学		
		有機化学演習Ⅰ	生物化学演習Ⅰ	無機素材化学	材料物理化学		
		物理化学B		化学工学	資源利用化学		
		物理化学演習B		電気工学通論	反応工学		
				工場見学	工業化学概論		
				応用化学特別講義Ⅰ	機械工学通論		
				応用化学特別講義Ⅱ			
				応用化学特別講義Ⅲ			
				応用化学特別講義Ⅳ			
						インターンシップⅠ	
						インターンシップⅡ	

コアカリキュラム
必修選択科目
選択科目

工学部総合工学科応用化学コース

科目区分/領域	到達目標	ディプロマ・ポリシー (DP) との関連				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
自然科学の基礎	学生は、自然科学全般の現象や用語について説明することができる。	◎	○			
	学生は、数式等の抽象的な表現によって自然現象を説明することができる。		◎	○		
	学生は、自然科学の中における化学の役割を理解することができる。			◎		○
化学の基礎	学生は、化学に関する基礎知識を説明することができる。	◎	○	◎		
	学生は、化学実験の基本的な操作を実施することができる。	◎		◎		
	学生は、それまでに得た基礎的な知識を実際の技術や製品と関係づけることができる。			◎	○	
化学の応用	学生は、それまでに得た知識を課題解決の手段として利用することができる。	○			○	◎
	学生は、新しい概念を創造するための研究活動に参加することができる。			◎	○	
	学生は、社会に貢献するための化学の役割を説明することができる。	○	○		◎	○

ディプロマ・ポリシー (DP) の説明

DP1：社会人としてふさわしい幅広い教養をもつ。化学の研究者・技術者として、基本的な専門知識を修得している。

DP2：自然現象を化学の観点から論理的に説明できる。科学技術や社会活動に関する問題を化学の観点から思考できる。

DP3：化学に関する技術や知識について、自主的かつ継続的に学習できる。

DP4：科学技術による社会への貢献や自然に与える影響について考えようとする姿勢を備えている。

DP5：化学の問題に関する研究や開発を計画的に進め、まとめることができる。